

2023年2月15日

(全3枚)

京都大学記者クラブ加盟社 各位
大分県政記者室加盟社 各位
別府市役所市政記者クラブ加盟社 各位

立命館大学
立命館アジア太平洋大学

2023年度一般選抜入学試験における出題ミスについて

標記につきまして、2023年2月2日(木)に実施いたしました、立命館大学および立命館アジア太平洋大学の一般選抜入学試験の選択科目「数学」におきまして、出題ミスがありました。

内容および対応について、以下の通りお知らせしますとともに、受験生ならびに関係者各位に深くお詫び申し上げます。

記

1. 試験日 2023年2月2日(木)
2. 対象入試方式
 - ・立命館大学 全学統一方式(文系)
 - ・立命館アジア太平洋大学 前期方式[スタンダード3教科型]
3. 対象学部
 - ・立命館大学
法学部法学科、産業社会学部現代社会学科、国際関係学部国際関係学科、文学部人文学科、映像学部映像学科、経営学部国際経営学科、経営学部経営学科、政策科学部政策科学科、総合心理学部総合心理学科、経済学部経済学科、スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科、食マネジメント学部食マネジメント学科
 - ・立命館アジア太平洋大学
アジア太平洋学部、国際経営学部、サステイナビリティ観光学部
4. 合格発表日 2023年2月17日(金)
5. 内容および対応
 - 科目名 : 選択科目「数学」
 - 科目配点 : 100点
 - 受験者数 : 1,552名(立命館大学1,538名、立命館アジア太平洋大学14名)
 - 該当箇所 : 大問I〔2〕(3)の設問「セ」について条件設定が不十分であったため、学習指導要領の範囲を超える解答を求める設問になった。 **別紙 ご参照**
 - 対 応 : 上記設問「セ」について全員正解(100点満点中5点)として扱います。

6. 原因と判明経緯

問題作成・校正時の点検が不十分であったことにより、条件設定が不十分であることを見落としてしまったことが原因です。試験実施後に外部からの指摘により判明しました。

7. 受験生への周知方法について

立命館大学入試情報サイトの「お知らせ」及び立命館大学アジア太平洋大学受験生サイト APUmate の「NEWS」に掲載いたします。

8. 再発防止対策および大学のコメント

今回の出題ミスについて、受験生、ならびに関係者各位に深くお詫び申し上げます。本学では、入学試験問題の作成にあたり、各科目における二重、三重の点検を行う組織的な体制をとってまいりました。しかしながら、今回このような点検体制が十分に機能しなかったことから、今一度、点検体制のあり方および人材確保について見直して再発防止策を検討し、具体化してまいります。

以 上

【本件お問い合わせ先】

立命館大学広報課(担当：池田・遠藤)

電話：075-813-8300

数 学

次のⅠ、Ⅱ、Ⅲの設問について解答せよ。ただし、Ⅰ、Ⅱについては問題文中の にあてはまる適当なものを、解答用紙の所定の欄に記入せよ。なお、解答が分数になる場合は、すべて既約分数で答えること。

Ⅰ

(1) 3次方程式 $2x^3 + 2x^2 + 5x + 7 = 0$ の3つの解を α, β, γ とするとき、

$$\alpha + \beta + \gamma = \text{ア}, \quad \alpha\beta + \beta\gamma + \gamma\alpha = \text{イ}, \quad \alpha\beta\gamma = \text{ウ}$$

このとき、次の式の値を求めよ。

$$(1) \alpha^2 + \beta^2 + \gamma^2 = \text{エ}$$

$$(2) (\alpha - 1)(\beta - 1)(\gamma - 1) = \text{オ}$$

$$(3) (\alpha + \beta)(\beta + \gamma)(\gamma + \alpha) \left(\frac{1}{\alpha\beta} + \frac{1}{\beta\gamma} + \frac{1}{\gamma\alpha} \right) = \text{カ}$$

$$(4) \alpha^3 + \beta^3 + \gamma^3 = \text{キ}$$

(2) 放物線 $y = -\frac{1}{2}x^2 + 3x - 1$ ……① がある。

(1) 放物線①の接線の傾きが1となるような接点Aの座標は、

$$\left(\text{ク}, \text{ケ} \right)$$

$$y = \text{コ} \dots\dots ②$$

である。また、接線②に垂直で点Aを通る直線の方程式は、

$$y = \text{サ} \dots\dots ③$$

である。

(2) 直線③とy軸との交点をBとすると、点Bを中心とする円と放物線

①が、ただ1つの共有点をもつとき、この円の方程式は、

$$x^2 + (y - \text{シ})^2 = \text{ス}$$

である。

(3) 連立不等式 $y \geq -\frac{1}{2}x^2 + 3x - 1, x^2 + (y - \text{シ})^2 \geq \text{ス}$ 、

$x \geq 0, y \leq \text{ケ}$ の表す領域の面積は **セ** である。

(3) $\triangle OAB$ において、 $|\vec{OA}| = 2, |\vec{OB}| = 3, |2\vec{OA} - \vec{OB}| = \sqrt{19}$ のとき、

$\cos \angle AOB$ の値は **ソ**、 $\triangle OAB$ の面積は **タ** である。

次に、ベクトル方程式 $(\vec{OP} - \vec{OA}) \cdot (\vec{OP} + \vec{OB}) = 0$ を満たす点Pの描

く図形は円であり、その中心をCとする。 \vec{OC} を \vec{OA}, \vec{OB} を用いて表すと、

$\vec{OC} = \text{チ}$ であり、この円の半径の値は **ツ** である。

また、この円と辺OBとの交点をDとすると、 $\triangle AOD$ の面積は **テ** である。